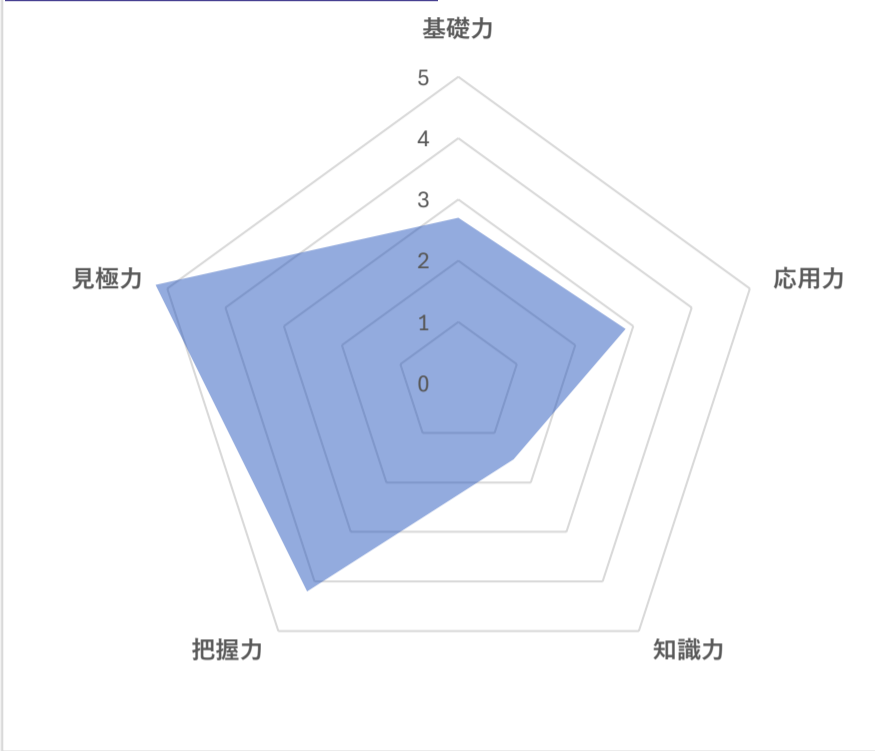


総合分析

試験区分	一般 (前期)
------	---------

制限時間	45分 (理科 2科90分)	大問数	全 3 問
------	----------------	-----	-------

合格に要する能力 (5段階)

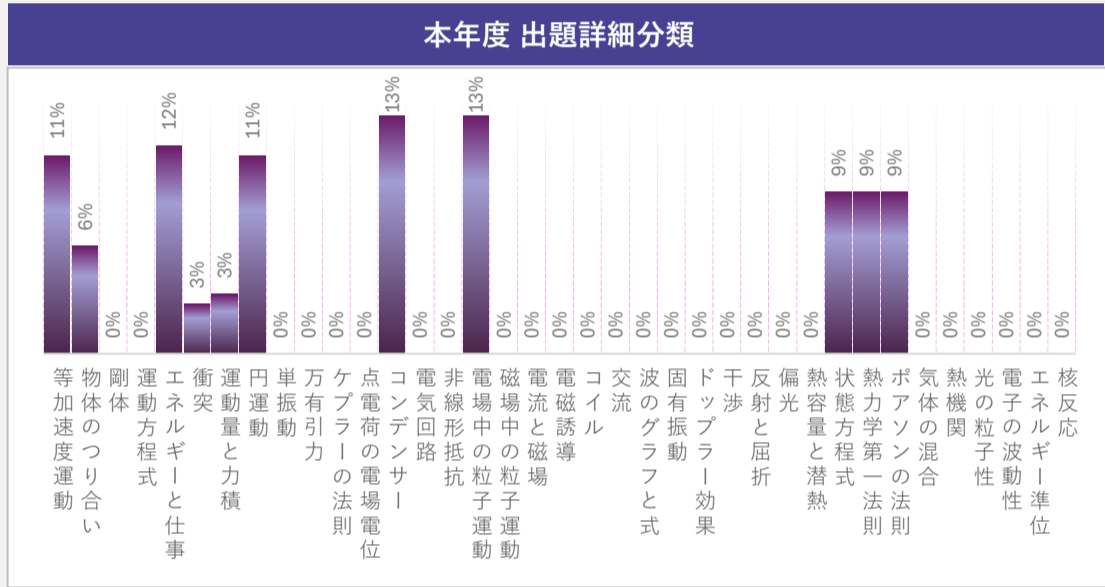


合格に要する能力 (5段階)		
基礎力	2.5	原理についての理解
応用力	2.7	演習経験による慣れ
知識力	1.3	用語を正確に覚えているか
把握力	4.0	臨機応変に状況を把握する力
見極力	5.0	解きやすい問題を選択する力

出題分野	
力学	46%
電磁気学	27%
波動	0%
熱力学	27%
原子物理	0%

本年度 解答形式	
選択肢	100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	半円筒に沿った運動
第 2 問	封入気体の状態変化
第 3 問	一様電場中の荷電粒子運動



特殊問題の有無	近似計算なし	グラフなし
正誤問題なし	理由記述なし	数値計算あり

特記事項 特になし

総合評価

難度	3.2	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	50%
分量	70分	完答に要する時間 (制限時間は45分)	多い	標準	

**入試の特徴と対策**

- ▶ 設問ごとにテーマが一貫しており、目標に向かう流れがある。速やかなテーマの把握が鍵となる。
- ▶ 概ね法則の運用に関する応用的な出題である。物理計算への慣れが必要となる。

**入試から見る 大学が求める学生像**

制限時間に対して問題の分量が多い上、丁寧に状況把握をしなければならないため、普段の問題演習で得た結果を応用的に適用していかなければ制限時間内に解答し終えることが難しい。確実に解ける問題を選択してミスなく解答することができる能力が求められている。